

[第 136 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 5年 3月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 5年 4月 1日(土) 15時~17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.215~(用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

令和5年3月4日(土)、安曇川公民館で第135回藤樹人間学塾を開きました。今回は大阪、京都から、そして新しい参加者を入れて9名でした。

■ テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第四巻 教子報の第5話~第7話

■ あらすじ

第5話(略)。第6話 虞潭の母、孫氏は、虞潭が幼少の時から忠義の心をもって教え励ました。蘇峻が謀反を起こしたときは虞潭は軍大将に任じられていたが、母は「あなたは命を捨てても軍功を立てて君主様に報わなければなりません」と励ました……。第7話(略)

■ 配布資料

- (1) 致知「一心万変に応ず」、(2) 数土文夫・鈴木秀子・横田南嶺「心の力をいかに高めるか」
- (3) 佐藤一斎「少にして学べば、即ち壮にして為すことあり。…」 他

■ 今日のポイント

- ・ 根本的には、福沢諭吉の説く独立自尊の精神を小さい時から教えないといけない。
- ・ 人間は、相反する二つが備わって初めて成長していく。慈悲や優しさとともに人を寄せ付けないほどの厳しさを持つ。
- ・ 人は皆、深いところで大いなる存在と繋がっている。私たちが大宇宙に生かされた存在であることに思いを馳せる習慣を持つ。
- ・ 少にして学べば、即ち壮にして為すことあり。壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老いて学べば、即ち死して朽ちず。

■ フリートーキング

- ・ 「ウクライナがロシアから不当に攻め込まれた時のように、国のために戦うことは正義だから毅然と対応すべきだ」
- ・ 「ありとあらゆるものが繋がっている。人間学を学ぶことはとても大切なことだと思う。清濁併せ呑む勇気も育てていきたい」

等の意見をいただきました。ありがとうございます。皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。

